

## 萩山台 市長と地域との懇談会

日 時：令和 6 年 11 月 9 日（土）  
午前 10 時から午前 11 時 30 分まで  
場 所：萩山台公民館  
参加者：23 名

### 【内 容】

#### 市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進み、燃えるゴミが減少し、晴丘センターの負荷が減少した。
- 剪定枝の分別が進み、市民の皆さんにとって出しやすい方法や時期等についても再検討する予定。
- 燃えるごみの量が減ったが、ごみ全体の総量では前年から 3% 程の減少と大きく減っていないため、家庭から出るごみの量の削減に取り組んでいきたい。
- 家庭から出るごみの中で一番多い調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に取り組み、ごみの総量の削減に協力いただきたい。

#### 市からの報告 テーマ：市長のこれまでの取組の成果と今後の展望について

##### ○これまでの取組の成果

「ごみの削減への取組強化」「子ども医療費無償化」「带状疱疹・新型コロナワクチンへの助成拡大」「物価高への支援」「市民の声を聴く場（地域との懇談会）の実施」「図書館のリニューアル工事」等について説明。

##### ○今後の展望

「次期将来計画の策定・市制 100 周年に向けた取組」「市内小中学校体育館への空調設備の設置」「公共施設の見直し・統廃合」等について説明。

#### 地域の課題：ごみの減量について

- プラごみの回収を週 1 回に増やしてほしい。
- ごみ捨てのマナーが悪い人がいて、ネットの中に捨てないのでカラスや猫の被害が発生している。
- 地域外から車で来てごみを捨てていく人がいるので、市から注意喚起してもらいたい。

- 不法投棄されたごみや回収されないごみ袋は、地域清掃の袋に入れれば回収してもらえるようにしてほしい。
- 未回収のごみは、一定期間過ぎれば環境課が回収するルールは知らなかった。もっと周知してほしい。

#### 地域の課題：その他

##### （市政全般）

- 現役世代（15歳から64歳）の人口を増やすための施策をやってもらいたい。そのためにも企業誘致は重要である。
- 定住促進を進めるのであれば、瀬戸市だけで考えるのではなく愛知県へのアプローチも必要である。
- 地域に住む外国人と共生するためにも彼らにマナーを守ってもらいたい。
- 駐車場が慢性的に不足している。県営住宅用の駐車場は入居者が減っているのに空きがあるが、分譲の住民は利用できない。

##### （学校関係）

- 萩山小学校の体育館について、市長から「エアコンを設置したうえで残す」との方針を聞いたので安心した。
- 学校と地域と一緒に連携していくのであれば、スケジュールなど情報をしっかり伝えてほしい。市役所の部署間において情報共有ができていないと感じる。

##### （その他）

###### 【瀬戸市立瀬戸特別支援学校 佐藤校長】

- 令和10年度に向けて萩山小にさくらんぼ学園を再編するにあたり、「福祉避難所」の整備を検討してもらいたい。避難所の開設にあたっては、地域の方にも人的支援が頂けるとありがたい。
- これまで萩山小は地域の皆さんの学校であった。萩山小はなくなるが、今後はさくらんぼ学園に地域の方に関わっていただき、地域の方に集まっていたような場所にしていきたい。

###### 【菱野幼稚園 酒井園長】

- 現在、350人の園児が通園している。地域の方には園の運営にご理解をいただき感謝している。現在、施設の建替えを予定しており、将来的には子育て支援機能も担っていきたいと考えている。

- 施設建替えにあたっては、一時的に近隣の土地を借りたいと思っているので相談にのってもらいたい。

(地域内の活動紹介)

- ひだまり井戸端会議（フレイル予防講座）

地域力組織の高齢者グループの活動として、市内の病院に依頼してフレイルについて正しい知識を学ぶ講座（井戸端会議）を設けている。また、それらを実践するための「超フレイルクラブ」も定期的を開催している。萩山台は市内でも高齢化率がトップなので、こうした活動を定着させていきたいし、市内全域にも広げていきたいと考えている。

- 萩山台 SDGs プロジェクト

昨年、環境課とコラボし課題解決応援補助金を活用して、ごみの分別や仕分けに関する動画（DVD）を作成した。この取組はごみの減量にもつながる内容で、住民も自分事としてとらえてもらいやすいので、これをきっかけにより良いまちづくりにつなげたいと思っている。個人的に色々な課に話をしているが、行政の中の風通しをよくしてほしい。資金面も含め、今後も活動に協力していただきたいと思っている。